

# 患者総合支援センターたより

特集

## 病院長よりご挨拶

トピック

- Face to Faceの会 ご報告
- 耳鼻いんこう科 ご紹介とお知らせ



日頃より大阪公立大学医学部附属病院に格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。

2022年4月に発足した大阪公立大学の附属病院として3年目を迎えました。大阪市内唯一の大学病院として、また特定機能病院として、地域医療を支えると共に患者さんに満足していただける安全で質の高い医療を提供すべく、日々努力を続けております。

また当院では患者さんへの良質な医療の提供のため、**地域医療情報連携ネットワーク**を活用し、地域医療機関や開業医の皆様がインターネット上で当院の電子カルテの閲覧、WEB予約システムを活用いただける環境を整備しております。今後も病病連携・病診連携を深めてまいりますので、引き続きのご理解、ご支援をお願い申し上げます。

大阪公立大学医学部附属病院 病院長 中村 博亮

### 地域医療情報連携ネットワークについて

医療連携登録医の皆さまには、地域医療連携システム（24時間WEB外来初診予約システム・診療情報閲覧システム）をご利用いただけます。ご利用には申請と、専用DVD-Rでのシステムインストールが必要です。詳細は右記のページよりご参考ください。



## 第51回 Face to Faceの会 を開催しました

令和6年3月16日(土)に開催しました第51回 Face to Faceの会は、皆さまのご協力により盛況のまま無事終えることができました。改めて感謝申し上げます。

演題では生活習慣病・糖尿病センター、腎臓内科、骨・内分泌内科 診療科部長の繪本正憲より「連携をみすえた糖尿病治療～糖尿病センターのとりくみ～」、また膠原病・リウマチ内科 診療科部長の橋本求より「膠原病内科学の取り組み」として各診療科の取り組みについてご紹介させていただきました。

大阪公立大学医学部附属病院では年3回、医療連携登録医の先生方との情報交換の場としてFace to Faceの会を開催しています。



生活習慣病・糖尿病センター  
腎臓内科 骨・内分泌内科  
診療科部長 繪本 正憲



膠原病・リウマチ内科  
診療科部長 橋本 求

次回は 令和6年6月29日(土)に開催します

詳細は決まり次第、当日よりお知らせいたします



## 耳鼻いんこう科 ご紹介とお知らせ

耳鼻いんこう科では、神経耳鼻(めまい、難聴・耳鳴)に力を入れています。高齢化に伴いめまい、難聴、耳鳴りの症例が増加しつつあります。難聴は認知症の危険因子であることが報告されており、難聴への対応は認知症予防として重要とされています。めまいは生活の質の低下のみならず転倒リスクにも関わるため、その治療・予防は重要なことと考えております。

### ■専門外来のご紹介

専門外来として腫瘍外来、めまい外来、慢性中耳炎外来、聴覚リハビリ外来(難聴)、遺伝性難聴外来、補聴器外来、睡眠時無呼吸外来、音声言語外来を開設しております。当院での治療が必要と思われる患者さんは、ぜひご紹介ください。

※当科外来では地域医療連携の強化、待ち時間短縮のため初診の患者さんにつきましては完全予約制とさせていただきます。ご予約は地域医療連絡室へ診察予約申込書と診療情報提供書をFAXください。

(地域医療連絡室FAX: 06-6646-6215)

### お知らせ

2024年4月より働き方改革および当科の診療体制の変更に伴い、下記の加療を目的とした新規患者様の受け入れを中止とさせていただくこととなりました。

①耳鳴に対するtinnitus retraining therapy (TRT) 療法

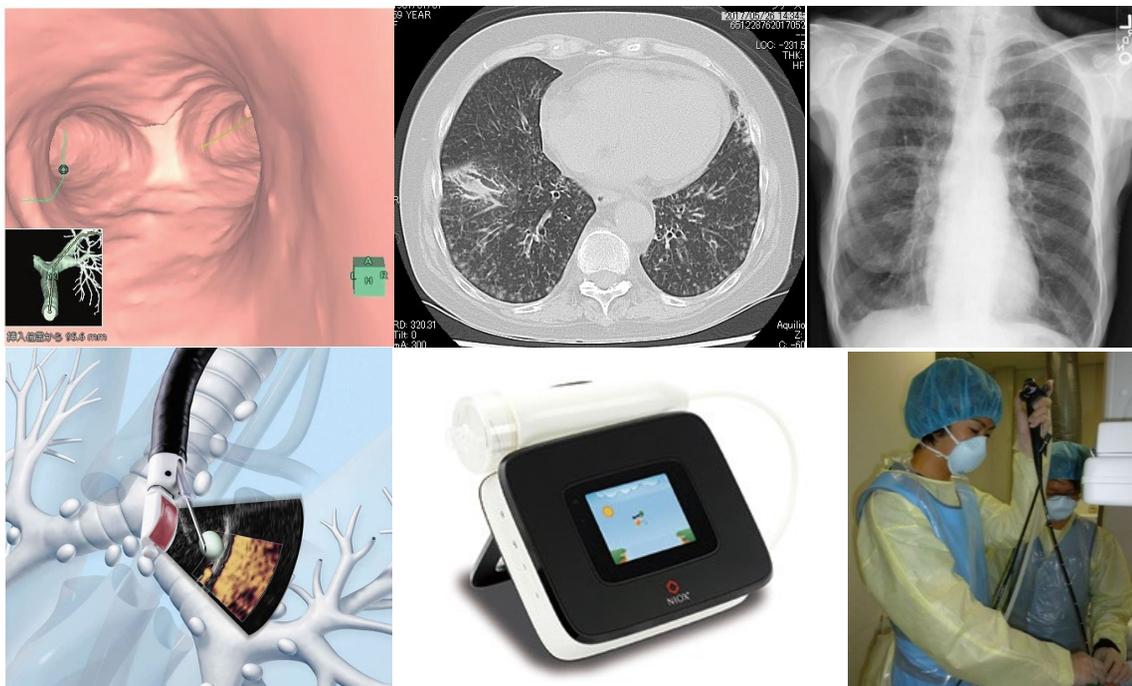
②アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫治療

急なお知らせとなり大変心苦しくはありますが何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

# 呼吸器内科

## 呼吸器内科では、最新検査・最新治療を行っています。

- 肺がん：外科、放射線治療科と協力して集学的治療を展開しています。また、最先端の分子標的薬、免疫療法の導入も行っています。
- 気管支喘息：吸入指導から重症喘息に対する生物学的製剤の導入まで含めたトータルケアを提供しています。
- COPD：吸入治療から重症に対するリハビリテーション、HOT（在宅酸素）やNPPV（在宅補助人工呼吸療法）、ネーザルハイフローの導入も行っています。
- 間質性肺炎：放射線診断科、臨床病理科の協力のもと診断を行い、IPF（特発性肺線維症）に対する抗線維化治療や、自己免疫性の間質性肺炎に対する強化免疫抑制治療を導入しています。
- 気管支鏡：超音波気管支鏡、クライオバイオプシー、迅速細胞診など最新の機器を導入し、高い正診率、低い合併症率をもって、迅速に診断しています。



身体障害（呼吸機能障害）の診断書も発行可能です。

排菌結核、COVID-19は、当科では診療しておりませんのでご了承ください。

## 小児科・新生児科

小児科・新生児科はこどものすべての病気を取り扱うこどもの総合診療科です。  
いろいろな症状を多彩な専門スタッフで総合的な治療を行います。  
各専門外来では最新の医療を提供しています。

## 代謝外来（月）

（ ）：専門外来初診担当曜日

先天代謝異常症のアミノ酸代謝異常、脂質代謝異常、有機酸代謝異常症などの診断・治療をしています。ファブリー病、ゴーシェ病、ムコ多糖症などライソゾーム疾患への酵素補充療法などの治療をしています。

## 神経外来（水〔てんかんは月、水〕）

てんかんに対してビデオ脳波検査、脳磁図検査をし、てんかん焦点をより正確に同定しています。  
新生児マススクリーニングで陽性となった脊髄性筋萎縮症の遺伝子治療が実施可能です。

## 糖尿病外来（水、木）

1型糖尿病患者数とインスリンポンプ導入数は、国内随一で豊富です。

## 血液・腫瘍外来（金）

関連各科と連携し安全で高度な集学的治療を行っています。

## 循環器外来（月）（火）

先天性心疾患、川崎病の診断・治療を行っています。

## 新生児外来（火）（木）

NICUからの超低出生体重児のフォローアップを行っています。  
新生児の外科症例や・染色体異常・シナジス接種にも対応しています。

## ゲノム診療外来（火）

遺伝性疾患が疑われる疾患に対して遺伝子診断、認定遺伝カウンセラーによるカウンセリングを行っています。

## 小児医療センター（小児科病棟）

2020年秋に改修工事を行いました。  
看護師が患者さんを観察しやすく、  
異常の早期発見や迅速な対応が行  
えるよう病棟の半分をオープンス  
ペースな環境に改修しています。

お子様が安心して療養生活を過  
ごしていただけますように  
病院保育士もサポートいたします。



小児科連携ラインを再開しております

**06-6645-3177**

入院依頼や、お困りの患者様がございましたら、  
どうぞお気軽にご相談ください

# 次回予告



★ 診療科紹介（予定） ★ 当院の診療科をご紹介します。

**眼科**

**総合診療科**

## Face to Faceの会 ご案内

今回は **令和6年6月29日（土）** に開催します。

詳細については決まり次第、患者総合支援センターたよりにてご案内予定です。

### 地域医療連絡室

**月曜日～金曜日 9:00～19:00**

**電話：06-6645-2877**

**FAX：06-6646-6215**

**URL： [https://www.hosp.omu.ac.jp/  
health\\_professionals/area/area.html](https://www.hosp.omu.ac.jp/health_professionals/area/area.html)**

#### ご予約方法

『診察予約申込書（診療情報提供書）』をご作成のうえ、  
FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。

詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、  
診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や  
別添していただく診療情報提供書はできる限り  
詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。  
また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。



〒545-8586

大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪公立大学医学部附属病院

TEL : 06-6645-2121 (代表)

TEL : 06-6645-2857 (患者支援課)

**初診受付時間** : 8 : 45 ~ 10 : 30

**休診日** : 土曜日・日曜日・祝日・12/29~1/3

送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。